

第8回：第3課 指示代名詞（場所）の導入（2時限：90分）

学習目標：挨拶、1課、2課の定着練習を続け、且つ3課指示代名詞（場所）を導入する。

準備教材：あいさつ、第1、2、3課絵カード、1～10班。数字と助数詞プリント。五十音カード。

教科書：『みんなの日本語1』及び『みんなの日本語1 学習補導用書』

学習者数：30人以下が望ましい。

T：OK？（疑問）[手でOKを作りながら]

S：OK！（肯定）

P.5

1) 毎日の挨拶と会話表現

例、T：どうぞ（挨拶絵カードをS1に渡す）

S1：どうも（S1は挨拶絵カードを受け取り）、Tと同様にコーラスをさせる

S：おはようございます。

S、T：おはようございます。

2) 1課の単語カード

例、S1：どうぞ（教卓の上にある1課絵カードをS2に渡す）

S2：どうも（S2は1課絵カードを受け取り）、Tと同様にコーラスをさせる

S：学校

S、T：学校

S：先生

S、T：先生

T：内田先生は...

S：先生 / です T：废话です

日本人 / です

31歳 / です

独身 / です T：どうぞよろしく申し上げます（例）

[以下同様に]

会社、社員 山田一郎さんは、日本人 / IMC の社員です。
 銀行、銀行員 山田友子さんは、日本人 / 銀行員です。
 病院、医者 王学さんは、中国人 / 医者です。
 大学、学生 イーさんは、韓国人 / 研究者です。
 エンジニア シュミットさんは、ドイツ人です。

3) 2 課の単語カード

	这	那	
东西	これ	それ	あれ
东西、人	この N	その N	あの N
場所	ここ	そこ	あそこ

例、S2 : どうぞ (教卓の上にある 2 課絵カードを S3 に渡す)

S3 : どうも (S3 は 2 課絵カードを受け取り)、S3 は S にコーラスをさせる

S3 : これは何ですか。

S : それはノートです

S、T : それはノートです。

4) 3 課の単語カード

例、S3 : どうぞ (教卓の上にある 3 課絵カードを T に渡す)

T : どうも (T は 3 課絵カードを受け取り)、S にコーラスをさせる

S : そこは食堂です

S、T : そこは食堂です。

P.24

5) 練習 A1 練習 B1

疑問詞 : 誰、どなた、何、いくつ、おいくつ、どこ、(どちら)

T : ここはどこですか。

S : ここは、教室 / 会社 / 5 階 / 北京 / 中国 / アジア / 地球です。

6) 練習 A2 練習 B2

7) 練習 A3 練習 B3

8) 練習 A4 練習 B4、5、6

人を指差すのは失礼。

こちら、そちら、あちら

9) 練習 A5 練習 B7

T: ベンツのマークを板書 S: ドイツの車です。

T: 三菱のマークを板書 S: 日本の車です。

T: 現代のマークを板書 S: 韓国の車です。

T: IBM と板書 S: アメリカのコンピューターの会社です。

T: NEC と板書 S: 日本のコンピューターの会社です。

T: 聯想と板書 S: 中国のコンピューターの会社です。

10) 練習 A6 練習 B8

T: 8 を板書

S1: 8

T: 8 8 を板書

S2: 8 8

T: 8 8 8 を板書

S3: 8 8 8

8 8 8 8 8 8 8 8 まで練習。

3 3 3 3 3 3 3 3 も練習。

文型、例文、会話、練習 C はカリキュラムによって組み入れるかどうか判断する。

数字と助数詞は時間がなければ、無理に導入しない。